

自然エネルギー導入を核とした地域づくりを支援

NPO法人地域再生機構の副理事長、そして、NPO法人HUB GUJO の理事を勤めている^{ひらの あきひで}平野彰秀です。2011年9月に岐阜市から白鳥町石徹白に移住し、丸7年になります。

地域再生機構は、恵那市に本拠地があり、持続可能な地域づくりの支援をしている団体です。郡上市内ではHUB GUJO 内及び白鳥町石徹白地内に事務所をおいています。その他、岐阜市や大垣市上石津町にも拠点があります。

私たち地域再生機構は、郡上市内では、白鳥町石徹白での小水力発電導入支援、明宝温泉湯星館での木質バイオマスボイラー導入支援、明宝寒水・大和町上栗巣・高鷲町向鷲見での自然エネルギー学校の実施、郡上市内の小水力発電の調査・設計、林業や木材流通に関する調査、HUB GUJOや「郡上カンパニー」を通じた地域での新規事業創出・関係人口構築支援などの業務を行っています。

郡上は、自然資源が豊かな地域であり、地域に住んでいるみなさんが「地域に対する情熱」と「自治の精神」を持った土地柄だと思います。私たちは、地域のみなさんから、地域で暮らしていく知恵と精神性について、日々、学ばせていただいています。将来にわたって持続可能な郡上を創っていくため、私たちの持つ専門性を生かしながら、地域のみなさんとともに歩いていくことができれば幸いです。これからも引き続き、よろしくお祈りします。

☎ HUB GUJO

☎ 67・9239



▲農産物加工所横の水力発電



▲石徹白集落全戸出資による発電所



▲石徹白が舞台となった映画「おだやかな革命」

郡上市市民協働センター

市民協働を地域で支えるサブセンターを紹介します。

協働センターには、広い郡上をカバーするためサブセンターを7地域に設置しています。

今月からサブセンターの活動を紹介します。初回は、明宝の「NPO法人ななしんぼ」です。

西脇洋恵理事長と、スタッフで明宝地域おこし実践隊の奥村文乃さんから話を伺いました。

「ななしんぼでは、【月刊めいほう】の発行、イベント運営補助、活動スペースの提供等、人と人がつながる場をつくり明宝を元気にしたいという思いで多くの支援をしています。明宝が元気になれば若い人が戻ってきます。Uターンだけでなく、JターンやIターン、週末のみなど、様々な機会に、明宝へ来てもらうようにするため、どんな活動でも取り組むという強い意志がななしんぼの市民協働活動を支えています。頼みやすく、誰からもあてにされる、無くてはならない存在となっていてます。」と話されました。

ななしんぼが関わって大きく躍進した団体があると聞きまし

た。「めいほう里山もくもく市場」はその代表です。その他にも「気良歌舞伎一座」、「ふるさと栃尾里山倶楽部」、「明宝歴史民俗資料館」も活発に活動しています。そんな団体がこれからも増え続け、明宝全体が元気になることを市民協働センターは願っています。



▲月刊めいほう編集会議



☎ 問

88 郡上市市民協働センター
2217